

## 8月 絵本であそぼ！

### ■0歳児

#### 絵本「きんぎょがにげた」

絵本「きんぎょがにげた」を読んで、絵本と同じように手作り金魚を大きいプールに逃がしたり、タライの中に逃がしたりしながら、一緒に追いかけてたりしました。そのあとは、金魚と一緒にプールに入り、水に浮かぶ真っ赤な金魚を嬉しそうに手でつかみ、握りつぶしたり、投げを試みたりしながらあそんでいました。絵本の時間にこの絵本を選ぶと、嬉しそうに指さして集まってきたり大好きな絵本の一つになってくれると嬉しいです。

### ●1歳児

#### 絵本「タンタンのハンカチ」



絵本「タンタンのハンカチ」もハンカチを大きくするおまじないの言葉が大好きで、保育者が読むと一緒に言葉が発しています。ハンカチをマントに見立て、つけてあげると大喜びで部屋中をかけっこしています。タンタンになった子どもたちは、「早い！早い！」と言われるとますますはりきってかけっこを見せてくれました。タンタンになりきってお庭まで走っていき、太鼓橋をよじ登って、「おーい」と元気いっぱい呼びかけたり、力をけよう！と順番に鉄棒にぶら下がってたくさん遊びました。遊んだ後は、汚れたマントの洗濯ごっこ。泡をいっぱい立てて「ごしごしゅっしゅ」とお洗濯をしました。「あわ、いっぱい」「きゃははは」と泡を身体につけて大喜びして遊びました。

### ◆2歳児

#### 絵本「ぎろんやまと10ぴきのかえる」

この絵本は、仲間のかえるが病気になってしまい、元気になってほしくて、食べると病気が治ると言われる『しゃっきりだけ（キノコ）』を病気の仲間の為にぎろんやまに採りに行く事にしました。途中、様々な困難を乗り越えていくかえる達の冒険のお話です。

絵本の読み聞かせをして、かえるに変身した子ども達は「すすめや すすめ ゴーゴーゴー」と絵本の中の言葉を楽しみながら、元気に大きなプールへ出発しました。プールの中では、フープにぶら下がって「かえるのサーカスだよ」と空中ブランコごっこを楽しみました。おっこちたら大変！！と子ども達も水の中に落っこちないように必死でぶら下がっていました。

### ●3歳児

#### 絵本『ぐりとぐらのかいすいよく』

絵本『ぐりとぐらのかいすいよく』に出てくるうみぼうずは、泳ぎの達人です。そこで保育士がそんなうみぼうずになりきって、カエル泳ぎ、犬かき、バタフライと泳いでみせると、「すごい、すごい」と子ども達も興味深々で見っていました。そこで、みんなでうみぼうず泳ぎに挑戦しました。まずは犬かき泳ぎ…うみぼうずがやってみると「犬さんて手はこうしてるよね」と手をグーにして手でこいで楽しみました。続いてカエル泳ぎクジラ泳ぎもしました。最後にみんなが大好きなイルカジャンプ！子ども達は手をしっかり上にあげて水の中に飛び込んでいましたよ。



## ◆4歳児・5歳児

### 絵本「くろずみ小太郎旅日記」

### くろずみ小太郎にお手紙を書くの巻



くろずみ小太郎旅日記の読み聞かせを深めてきた子どもたち。自分たちも忍術の修行をしようと、プールでも「うしのしっぽふりの術」「アメフラシの術」「手裏剣投げの術」と修業を積んできました。「聞き耳の術」「跳び箱の術」「鉄棒の術」と日々頑張っています。ある日、ぶどう組の子どもたちが「先生僕たちの竹馬ないね」「みんなの分がない」「私たちの竹馬欲しいな…」とつぶやいていました。「そうね…誰に頼んだら竹馬をもらえるかしら」と尋ねると、「分

かった！くろずみ小太郎にお願いしたらいいんだ」「お手紙書いてね」「うん、ポストに入れると」「そしたらきっと竹馬を届けてくれる」「だけどたくさん持って来れるかな」「いっぱいあるしね」「大変かも」と心配する子どもたち。ちゃんと相手の立場になって考えてくれる姿にも感動しつつ、「大丈夫よ、忍術が使えるくろずみこたろうだよ、きっと届けてくれるかも知れないね」という事で、ぶどう組の子どもたちが集まりお手紙を書く事にしました。

ぶどう組の子どもたちは、どんな文章を書いたらいいか、知恵を寄せ合い書きました。「くろずみこたろうへ…」「**さん**をつけないと失礼だよ」「あーそうだね」「忍術の修行も頑張りますとかは？」「どこに届けていいか分からないかもよ」「ここに って書かないと」「ちっちゃい つもいるよ」と教え合いながら書く姿を見て、子どもたちだけで文章を書けないだろうかと静かに見守ることにしました。そして完成したのがこの手紙です。本当に竹馬が欲しいという気持ちが凝縮されていました。そして出来上がった手紙をポストに入れ、みんなで「くろずみ小太郎さんに届けてください」とお願いをしたぶどう組の子どもたちです。

午睡後目が覚め、竹馬が届けてあることに気がついた数名の子どもたちは「みんな竹馬がある」「手紙がある」と驚いたように呼び掛ける声で、みんな跳びあがるように起きて竹馬の元へ向かいました。「ほら、これ竹馬だ」「やった竹馬だー」竹馬と一緒に置いてある筒をみて「ねえ、これ何かの手紙かな？」「開いてみよう」「何だろう…」「これ、ほら、忍術の修行のだ」「シール貼っていうのじゃない」「あッ これ この手裏剣とかを張るんだ」「待って待って、手紙読んでみよう」と手紙を読み、「やっぱりだーこれ忍術の修行表だ！」と少しの時間の間に予想したり色々な思考を巡らせていました。そして少し落ち着いた所で「くろずみ小太郎さんありがとー」と大きな声でお礼を言っていた子どもたちです。これから、くろずみ小太郎とのやり取りを通して、運動会を迎えるまで時には楽しみ、時には葛藤を共に乗り越えながら、気持ちを一つにして取り組んでいきます！

